

【基準Ⅳ リーダーシップとガバナンス】

- (a) 基準Ⅳの自己点検・評価の要約を記述する。

理事長は本学園の運営全般にわたり、リーダーシップを発揮している。創始者以来の建学の精神及び自らの教育理念に基づき、教職員をリードし、「寄附行為」に基づき、理事会を中心として学校法人全体の管理運営を適切に行っている。

学長は理事会に出席し、本学園の管理運営に参画するとともに、教授会を適切に運営し、本学の管理運営、教学の両面において常に指導力を発揮している。

理事長及び学長を中心に本学は適切に運営されており、監事は「寄附行為」に基づき、適切に業務ならびに財産の状況について監査を行い、理事会及び評議員会に報告を行っている。

評議員会は「寄附行為」に基づき適切に運営されている。

- (b) 基準Ⅳの自己点検・評価に基づく行動計画を記述する。

監事の職務をサポートする内部監査部署を設置する。